

■発行／江別工業団地協同組合 江別市工業町15の1 電話384-3262 ■発行責任者／理事長 杉野邦彦 ■印刷／笹岡印刷株式会社

*広報「ついでしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。



美原大橋

写真提供／(株)イチムラ 設計部 藤井 雄太さん

目次

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ○ 表紙 美原大橋 1 | ○ 献血ボランティア活動 12 |
| ○ 年頭のご挨拶 2~3 | ○ 交通安全啓蒙活動感謝状 13 |
| ○ 江別工業団地広報プロジェクト 企業紹介 ... 4~5 | ○ 江別市より安全衛生活動表彰 13 |
| ○ 全国産業安全衛生大会に参加して 6 | ○ 優良商工従業員表彰 13 |
| ○ 防火講習会・防災センター見学 7 | ○ 山登り同好会レポート 14 |
| ○ 九州視察研修会 8~9 | ○ わが郷土の歴史 その27 15 |
| ○ 第14回親睦ボウリング大会 10 | ○ クロスワードパズル 16 |
| ○ 共同受電事業・損害賠償保険 11 | ○ 組合行事 16 |
| ○ 広報誌サポートメンバー紹介 12 | |

平成30年 年頭にあたって

江別工業団地協同組合
6代目理事長

杉野 邦彦



組合員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

みなさまには明るい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろは組合運営に深くご理解と温かいご協力をいただき心より感謝申し上げます。

年が明けて顔を合わせ「明けましておめでとうございます。」と挨拶をします。今年も一年が始まるなあ。良い年にしたいなあと思いますよね。ところで、どうして年が明けたらおめでとうなんだろうと考えたことはありますか？

実は、昔は（と言っても実際には1950年ころまでですが）日本国民は1月1日が来ると皆が一つ年をとっていた（いわゆる数え年です）ので正におめでたい日だったのですね。さらに、昔は今ほど飢えや病気や災害に対する対応力が無く、だれもが不安定な生活を送ってきた時代、新しい年が明けるまで無事に生きることができたという喜びは、きっと日常生活からの実感だったのでしょうか。そんな中から、新年の挨拶が生まれ一般化したのも自然な気がいたします。

多くの方が亡くなった大震災や昨年の九州北部豪雨災害、そして北海道での自然災害や交通災害での影響を思うと、何気なく使っていた新年の挨拶の意義を深く感じます。

わが江別工業団地内においても昨年、幹線である五丁目通りで大きな交通死亡事故が発生しました。直線1.2km四車線の道路は大型トラックも多く、スピード違反も多発しています。その後、組合員様のご協力をいただき、五丁目通り両側に約300本の交通安全旗を掲げ、ここを「旗の波街道」として交通安全啓蒙に取り組んでいます。現在137社が活動する江別工業団地ですが、無事に帰宅するまでがお仕事です。くれぐれも安全に配慮し、自らの命を守っていただきたいと思えます。

今や、わが工業団地は江別市の製造品出荷額のおよそ半分を占める重要な産業集積地です。共同受電は年間12億円に及ぶ大きな事業となり、5つの委員会活動を中心に幅広い組合事業を進める基盤となり、異業種工業団地の成功例として全国からも注目されるようになりました。これは各時代の厳しい環境を乗り越え、組合を牽引された歴代の理事長、役員、理事のリーダーシップと、組合員各社そして組合事務局が団結した「チーム工業団地」の力に他なりません。

新しい年を迎え、これからもより良い組合環境づくりへの課題にチャレンジしていきたいと思えます。また「緑豊かな」「地域に開かれた」そして互いの「顔が見える」工業団地づくりに取り組んでいきたいと思えます。そのためには、組合員のみなさんが誘い合ってより多くの活動に参加し、コミュニケーションを深めていきましょう。「ともに学び、ともに成長する」そうした「江別工業団地」をいっしょにつくっていきましょう。

新たな年が組合員のみなさまお一人お一人にとって、成長と成果を実感できるすばらしい一年となりますよう、心から願っております。

年頭のご挨拶

江別市長

三好 昇



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から、市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年は、第6次総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の前半5年間で重点的・集中的に進めてきた「えべつ未来戦略」の集大成となる5年目を迎えます。

これまで、一昨年にオープンした「商業施設EBRI（エブリ）」や、昨年開設した「都市と農村の交流センターえみくる」をはじめとする魅力発信事業により、交流人口の増加を図ったほか、住宅取得支援や教育環境が充実したことで、子育て世帯の転入増につながり、人口が2年連続で「社会増」となるなど、未来戦略の成果が見えてきました。

また、皆さまの健康寿命を伸ばし、生涯を通じて元気で健やかに過ごせるよう、健康意識の向上と健康づくりの施策を積極的に進めるため「健康都市宣言」を行い、10月に開催した「えべつ健康フェスタ」には、多くの皆さまにご来場いただきました。

今後も、様々な機会を通じて、健康づくりの気運を高めてまいります。

地域経済の状況を見ますと、このところ市内では新たな企業の進出や店舗立地の動きが表れてきていることから、この流れを止めることなく、これまで以上に産業の活性化を図るため、既に立地している企業の皆さまと協力しながら、地域内の投資や雇用を創出していくほか、引き続き企業誘致を進めてまいります。

あわせて、市内大学との関連では、学生の地域活動への参加について、企業や大学、連携自治体が支援する取り組みを継続することで、企業や大学との結びつきが生まれ、卒業後の地域定着につながることを期待されます。

さらには、トップアスリートとの交流などを通じてスポーツ振興を図るため、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックに出場するチームの合宿誘致を積極的に進めます。

そして、今年は、高知県土佐市との友好都市提携40周年を迎えます。この節目を皆さまとともに祝い、両市の絆を一層深めてまいります。

市立病院の経営など諸課題に対応しながら、引き続き、江別市の持つ特性や優位性を活かし、皆さまとの「協働のまちづくり」を積極的に進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

新たな年が皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

株式会社 龍田工務店

メンテナンスフリーの水道管で江別のライフラインを担う

ステンレス管とゴムを使ったメンテナンスフリーの水道管を主に取り扱っており、その高い耐久性により江別市内全域にライフラインを供給するという大役を担っている。



会社の根底にあるもの

企業の理念として龍田社長が大事にしているのは、「企業で働く一人一人が帰属意識を持つことであり「何に生かしてもらっているのか」ということをしっかりと自覚することだ」ということ。また、江別市にもう一度火を灯したいという熱い気持ちを持って地域活動にも積極的に取り組んでいる。

若者へ一言



代表取締役社長 龍田昌樹

まず個人の幸せがあり、その中に仕事があるのだから、自分の価値観をはつきりと自覚し目標をもって働くこと。そしてそこから人生や仕事での充実感を感じられるようになって欲しい。

水が家庭に届くまでには様々な種類の水道管が必要になる。龍田工務店は独自の技術を用いてこれらの設備を総合的に取り扱っている。

給水管

配水管

送水管

ポンプ場

導水管

コラム

この企業を訪問して、龍田社長の人柄の良さがとても伝わりました。社員の方々と意思疎通がしっかりとおり、価値観の共有ができていてこういう企業で働きたいと思いました。



企業情報

株式会社龍田工務店
建設業

江別市工業町2-1-7

011-382-2894

代表取締役社長 龍田 昌樹

江別の学生に地域の企業を知ってもらいたい。そして市内の企業へ就職するきっかけを作りたい。この江別工業団地には、高い技術と品質を提供する優良な企業がたくさんあり、また私たちの生活にとっても身近で親しみのある会社が多く存在します。札幌学院大学に協力を仰ぎ、学生の皆さんに企業取材してもらうことで理解を深める機会をもうけました。長い時間をかけ学生が取り組んだ取材記事を、ご紹介いたします。

株式会社 菊水

「信頼と創造」

家庭用チルド麺の市場規模は横ばいか縮小傾向にあり、さらに、人件費や物流費の高騰によって高コスト経営に陥る企業が多い。その厳しい経営環境にあっても、株式会社「菊水」の生ラーメン業界シェアは、北海道ナンバー1。全国でもトップ3に入るまでに高成長している。

それは社である「信頼と創造」の粘り強い、日々の仕事の積み重ねの結果に他ならない。ものづくり魂とチャレンジ魂を持って、人の役立ち、社会の役に立つ。菊水が消費者に支持される理由がそこにある。



菊水の三つの気合い

「やる気」は、積極的に近づくこととで、行動の源だ。

「元気」は、行動によって生まれる、成長の源だ。

「本気」がなければ、本物にならない、力の源だ。

ハルユタカと製麺。そして地域貢献

ハルユタカをメインに、江別で製粉し製麺する。商品化もまた江別の地域住民と共に行い、家庭で消費され、そして市内の飲食店では100種類近くのメニューとなつて提供されている。さらに、地域内で完結する栽培・製粉・製麺・消費の一連の流れは小学校の小麦追跡学習として定着し、市内の全小中学校で給食として提供されている。それが、子どもたちが地元の良さを知る絶好の機会となつている。

そんな環境から生まれたのが、江別のスーパー定番人気商品「えべチュンら〜めん」。最高級の江別産小麦と独自の寒干し製麺技術でつくった高品質な地域特産麺である。

◎DATA◎

企業名：株式会社菊水
 業種：製造業
 住所：江別市工業町19-6
 電話：011-383-7905
 代表者氏名：杉野邦彦

◎若者へひびく◎

『失敗をおそれるな』

「失敗したくないから動かない」では成功することもできない。やってみないとわからないことも沢山ある。失敗したときに反省する意味は、新しい決意を生み出して、次のステップに進むため。何事も挑戦することが大事です!!



代表取締役社長 杉野邦彦さん

◎ラム〜私たちが取材しました◎

成長する企業には明確な「気力(三つの気合い)」の実践があると実感しました。私達も挑戦する気力を持った社会人になります。



第76回全国産業安全衛生大会 in 神戸に参加して

オシキリ食品(株) 取締役工場長 菅原 康之

去る11月8日～10日に神戸市にて開催された全国産業安全衛生大会に当組合安全衛生委員として久保総業久保社長、組合千種課長と共に参加させていただきました。

毎年この時期に全国の何れかの主要都市にて開催される大会で、私は一昨年の名古屋大会参加に続き2度目の参加となりました。

1万人から1万5千人の参加する全国規模の大会でその熱気も凄いものがあります。

冒頭開会式、鈴木大地スポーツ庁長官(ソウルオリンピック背泳ぎ金メダリスト)の祝辞…企業にスポーツを奨励し、心身ともに健康で明るい職場づくりをスポーツ庁として企画推進していきたいとの話があり従業員同士の仕事以外での触れ合いがだんだんなくなってきて感じてきていただけに共感とその手腕に期待するものがありました。

安全大会とスポーツ庁、あまり関わりが無いようにも感じたがスニーカー通勤が珍しくなくなってきたり、手提げカバンがリュック型になったりと生活スタイル、働くスタイルが健康志向に代わってきていることを考えると自分も「もう少し頭の柔軟体操が必要な」と思う瞬間でした。

分科会も折角だからと陸上、朝原宜治氏(北京オリンピック100m×4リレー銀メダリスト・現在は大阪ガス在職で陸上競技クラブNOBY T&F CLUB主催)の講演を聞かせていただきました。(さすがに蘊蓄のある、飽きさせないお話でした)

外国チームは個の集まりだが、日本チームはチームとして連携している、外国チームはバトンが下手、日本チームは信頼関係がしっかり構築されている…だから勝てる、実際に個のタイムを合計すると理論的に勝てないがそこにバトンパスという共同作業が加わるとタイムは逆転するなどというお話を実演を交えながら興味深く聞かせていただいた。…話はとてもうまかった。余談だが奥様はシンクロの奥野史子さん、今この世で一番怖い人とのこと…なぜか親近感を覚えてしまった…

2日目は人と防災未来センターを見学。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生、6,400人を超える人命が失われるなど、甚大な被害であったが震災の爪痕も今は影も形もなく見事な復興を成し遂げている…

逆にこの事実を風化させることなく、経験と教訓を未来に継承、発信することを使命とする施設で当時の状況を見ることができた。

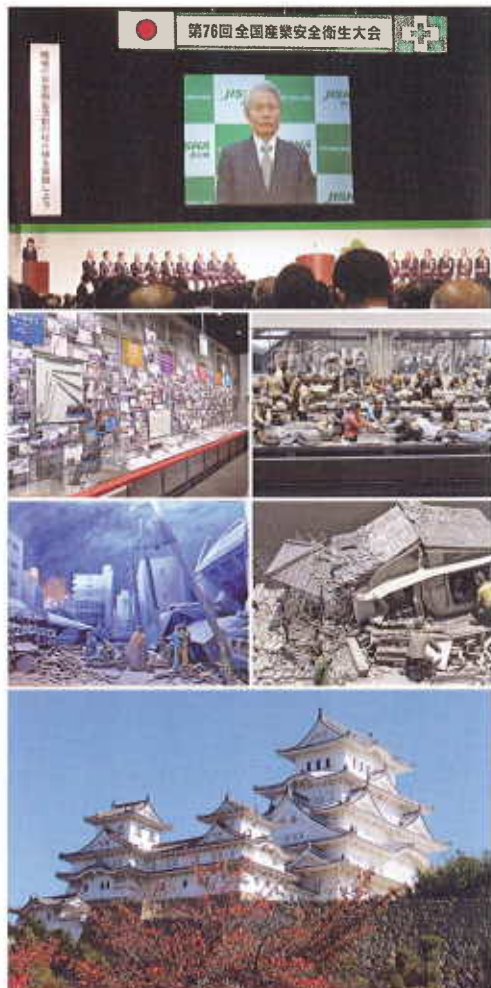
特に久保さんは震災時にボランティアとして駆け付け、学校に寝泊まりし活動していた時のことを思い出しすこぶる感慨に浸っておられた。

3日目、今回の自由行動は姫路城の見学でした。

改修工事もほぼ終わり本当に見事なお城でした。ありがとうございます。

雲一つない秋晴で、桜でも咲くのではと思うくらいポカポカ陽気、このまま帰りたくないと思ったのは私だけでしょうか…とはいえ無事に3日間の行程を終了し帰ってこられましたこと改めて感謝いたします。

今回得た経験を社業、工業団地の発展のため役立てることをお誓いし、大会参加の報告とさせていただきます。



防火講習会・防災センター見学

11月7日(火)安全衛生事業の一環として防火講習会「札幌市民防災センター見学会」を開催いたしました。参加者は16企業28名。江別市消防署江別出張所所長・佐藤さんに同行していただきました。

札幌市民防災センター到着後2組に分かれて見学しました。災害バーチャル体験コーナーで津波、土砂災害や都市型水害など3D映像によるバーチャル体験をしました。次に暴風体験コーナーでは、3Dメガネを掛けて風速30mまでの風を体験しました。全国

で初めての施設とのこと。風速も去ることながら3Dメガネでかなり臨場感溢れる体験ができました。地震体験コーナーでは関東大震災、東日本大震災、阪神淡路大震災を選択し体験をしました。横揺れがかなり続いたり、縦揺れが大きかったりと地震の特性に合わせて体験することができました。モデルで作った小さな部屋でもかなりの揺れを感じるので、実際の震災を想像すると冷静に行動ができるのか心配になります。

消火体験コーナーではスクリーンに映し出された火災の映像(調理中の天ぷら油)を実際に消火器を使って消火させます。なかなか火元の部分に当てることができず、火がだんだん大きくなり火柱が立っている人もいました。火柱がたった時点で自力で消すことができなくなるとの事です。消火ポイントは「火の根本にむけて左右にゆらす」ということを教わりました。数人ですがホースを炎に当てたりと危険な状態で消火しておりました。

煙避難体験コーナーではビル火災を想定して煙の中に口を押さえて入り、ドアの向こうにある火を気にせず階段を登ったり降りたり迷路の道をゴールまで歩くのです。グループの中でも最初に入って比較的速く出て来れたので、後続の方々の様子を見てみると、危険なドア(火元のドア)を開けたり、迷子になったり、前の人の背中をドアだと思い「ドアここだよ!」と言って押してみたり、模擬体験なのに皆さん間違った行動が多く見られました。

他にも救急体験コーナーや模擬ヘリコプターを操縦して札幌市上空(ジオラマ)を飛んでみるなど、ご家族で体験できる施設となっています。1時間30分の体験学習を終え帰りのバスでは、お忙しいところ同行していただいた江別出張所所長・佐藤さんに、昨今の火災・救急出動や状況などのお話をしていただきました。

災害時の行動を学ぶためにも、1年に1度札幌市民防災センターで体験されてみてはいかがでしょうか。



平成29年度 視察研修会に参加して

道央衛生(株)
代表取締役 佐々木 雅之



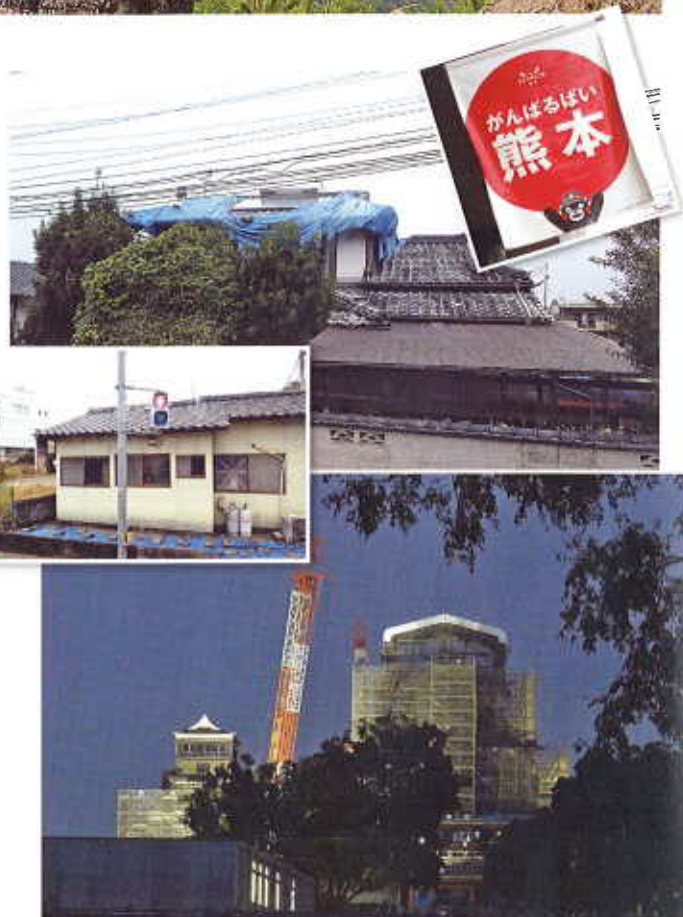
2016年4月14日夜、震度7の激震が熊本地方を襲った。しかし、この揺れは前震に過ぎず、2日後またも震度7の本震が追い打ちをかけた。熊本県、大分県に過去にない回数の余震が繰り返し起こり、国道に架かる大きな橋は落ち、国宝の名城は無残な姿に変わり果てた。



当組合では、この地震の被災地域に少しでも早い復興を祈りながら、寄付金・義援金をお送りしました。また、昨年の視察研修会においても、行き先の候補に挙がりながら、まだ余震が続いているということもあり断念した熊本県から鹿児島・宮崎までを今年の視察研修先として選び、11月17日から19日までの3日間13名の参加をいただき実施いたしました。初冬の江別とは違い、本州最南端の地ということで暖かさを期待していきましたが、今シーズン最強の寒波が全国を覆い、江別では最初の除雪作業が行われたあの時でしたので、ジャケット・コートが手放せないままでした。



初日はまず熊本地震の震源地の益城町を訪れ、新築の家や真新しい瓦屋根など明るさを感じていましたが、建て替え途中の電信柱、きっと強度的に問題なく優先順位の低い電柱なのでしょう、傾いたままのものもあったり、屋根にブルーシートがかけられ瓦の落ちたままの住宅があったりとまだまだ復興の真っ最中なのだなと感じました。ガイドさんのお話によると、幹線道路はほとんど整備されたのですが、中小路は通行止めの場所も数多く残っているとの事、また、仮設住宅の周りには木が植えられており、周囲からは目立たないようにしているということでした。1年半の年は過ぎましたが、地元の被災された方にとってあの地震はまだ昨日の出来事として感じてられるのだらうと思いました。



熊本市民の心のよりどころであった加藤清正が築いた名城熊本城は、20年かかると言われる修復の元年となり、本丸も「奇跡の一本石垣」で持ちこたえた飯田丸五階櫓も足場に覆われ、それでもライトアップされている姿をお堀の外から遠くに見ることしかできませんでした。

東北やこの熊本も然り、毎年自然災害は絶えることはありません。私たちの備えや減災も大切ですが、被災地のことも忘れず、小さなことで構わないので復興の一助を担っていかなければならないと感じました。



さて、2泊3日の研修会は、その他の企画も満載でした。熊本では、東海道五十三次を表しているという細川家の庭園、水前寺公園で阿蘇の湧水の清らかさに心を洗われ、西南戦争の激戦地、田原坂資料館では、西郷隆盛率いる薩摩軍と幕府軍が撃ち合った銃弾同士が空中でぶつかった貴重な個人所有の発掘資料を拝見することができました。



二日目は鹿児島県、桜島をぐるっと周回し、違う角度また、遠く近くからその雄大さを感じ、さらにその桜島を築山に、錦江湾を池に見立てて作られた島津家の別邸仙巖園も、そのスケールの大きさに圧倒されました。



三日目の宮崎県都城市の霧島酒造では、焼酎の試飲で昨晚の酔いが復活し居座りたくなりましたが、添乗員さんの「出発だよ!」の一言で何とか我に返った感じでした。青島神社では、お祓いを自分でできる?というような意味に解釈し、備えつけてあった御幣でお祓いし、厄払いもさせていただきました。ご用意いただいた食事も毎回その地の郷土料理に満足し南九州の芋焼酎を友に堪能いたしました。二次会ではカラオケで盛り上がるなど参加された皆様との懇親も深まりました。



所管の総務委員会といたしましては、来年以降も事務局のお力をお借りし、このような楽しく有意義な研修会を企画していく所存ですので、多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。





親睦 ボウリング大会 開催

第14回親睦ボウリング大会&焼肉交流会が、平成29年11月24日(金)午後6時30分より、「原始林ボウル」で開催されました。

今年は、22企業64名がエントリーされ、1チーム4名で16レーンを使い熱い戦いが繰り広げられました。

委員長の挨拶のあと、昨年優勝をされた(株)北海道酪農公社・西山 諒さんの始球式でゲームが開始されました。試合は2ゲームの得点で競います。

初参加の方を含め沢山の方に参加していただき会場も熱気に包まれていました。皆さん仕事帰りでお疲れかと思いきや、今年こそは「優勝するぞ!」と言わんばかりにボールを持つ手には力と汗が…「ストライク!」ピンの弾ける音が会場全体に響いていました。

ボウリング世代の大先輩の方々のフォームはとても綺麗ですし、ナイスリカバリーでした。さすがです(-_-;)。と感心している間に1ゲームが終わりに近づいたので、各レーンを見てみると、5レーンが516点でトップに付け、続いて11レーンが503点、10レーン502点でした。このままで行くのかと思われましたが2ゲーム目の結果は、なんと16レーンが593点でトップ、続いて10レーン558点、そしてこれまたびっくり4レーンが544点を叩き出し大混戦となりました。



個人優勝 本田さん



団体優勝 16レーンの皆さん



団体準優勝 10レーンの皆さん



団体3位 11レーンの皆さん

団体賞のルールはレーンごとの総得点で、2位と3位の合計点の高い順からトップ3が決まります。その結果、下記の順位となりました。

団体優勝から3位までのチームで、2ゲームとも3位までに入賞していたのは、準優勝の10レーンのみでした。

優勝された16レーンは1ゲーム目は5位でしたし、3位の11レーンは2ゲーム目は7位でした。団体賞はいかにレーンごとの2位と3位の点数が重要なのが分かります。

個人優勝は(株)システック本田隆紀さんでした。おめでとうございます。

始球式をされた(株)北海道酪農公社・西山 諒さんですが、去年はダントツ優勝されていましたが、本来の力を出しきれず終了となってしまいました。

次回も是非参加していただきたいと思います。全員ケガもなくボウリング終了後は食事をしながら表彰式が行われ、和気あいあいと親睦交流を深める事ができました。



第14回親睦ボウリング大会結果発表

| 順位 | 氏名 | 企業名 | ゲーム1 | ゲーム2 | スコア計 | HDCP | 総得点 |
|-----|-------|-----------------|------|------|------|------|-----|
| 優勝 | 本田 隆紀 | (株)システック | 163 | 157 | 320 | 20 | 340 |
| 準優勝 | 磯口 洋二 | 菱中海陸運輸(株) | 123 | 177 | 300 | | 300 |
| 3位 | 中里 富弘 | 會澤高圧コンクリート(株) | 137 | 168 | 305 | -20 | 285 |
| 4位 | 里深 伸司 | 安田建設(株) | 137 | 146 | 283 | | 283 |
| 5位 | 伊藤 有紀 | (株)龍田工務店 | 138 | 124 | 262 | 20 | 282 |
| 6位 | 佐藤 賢治 | 株式会社北海道スクリーン製作所 | 113 | 149 | 262 | 20 | 282 |
| 7位 | 西山 諒 | (株)北海道酪農公社 | 144 | 156 | 300 | -20 | 280 |
| 8位 | 渡辺 一也 | (株)龍田工務店 | 123 | 153 | 276 | | 276 |
| 9位 | 千葉 智明 | (株)菊水 | 117 | 154 | 271 | | 271 |
| 10位 | 狭田 真二 | 北海道中央食糧(株) | 122 | 148 | 270 | | 270 |

| 団体賞 | レーン番号 | メンバー氏名 | 2位 | 3位 | 計 | 総合計 |
|-----|-------|-------------------------|-----|-----|-----|------|
| 優勝 | 16レーン | 佐藤 賢治・太田 裕人・千葉 智明・村上 潤 | 271 | 268 | 539 | 1054 |
| 準優勝 | 10レーン | 佐藤 勝己・渡辺 一也・狭田 真二・牧野三香子 | 270 | 263 | 533 | 1060 |
| 3位 | 11レーン | 鍋谷 政寿・里深 伸司・上田 省二・津田 幸徳 | 260 | 221 | 481 | 984 |



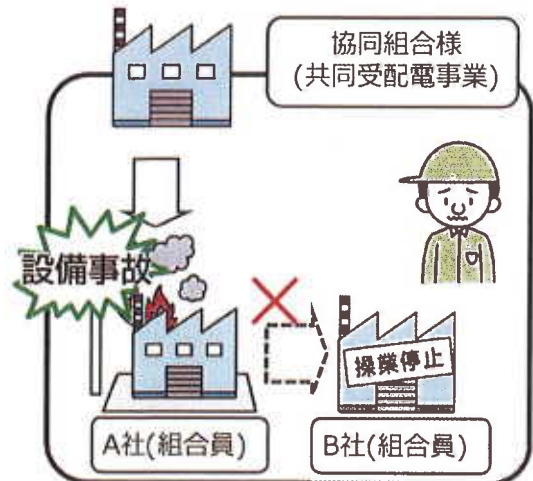
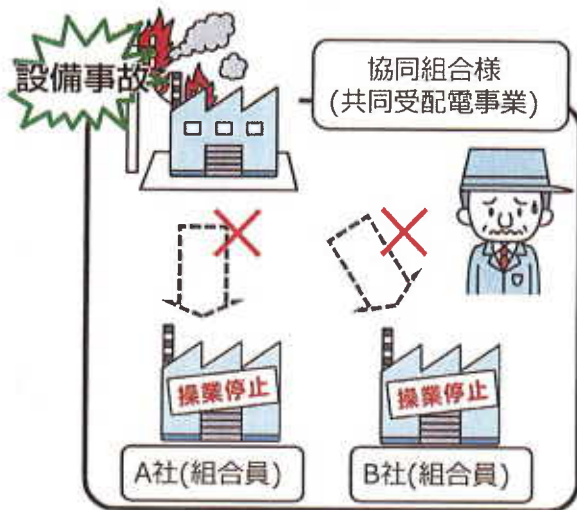
2017年10月より、配電停止リスクに対応可能な賠償責任保険に加入しました!

当組合の根幹をなす共同受電事業において、かねてより検討事項であった「配電停止リスクに対応可能な保険」ですが、今までは対応できる保険はありませんでした。ですが、この度、三井住友海上火災保険(株)より「専門事業者賠償責任保険」が設計され、定例三役会、理事会に於いて協議を重ね、2017年10月より保険加入することといたしました。

補償の詳細内容は下記の図のとおりとなります。12月13日には説明会も開催いたしましたが、当日欠席され、内容確認をしたい組合員さんがいらっしゃいましたら、電力部薄課長までお問合せください。

電力コストにメリットがある共同受配電事業・・・
でも、設備事故によって電力供給停止になったら？

組合員の設備事故によって他の組合員への電力配給が停止になったら？



★主な保険金をお支払出来ない場合

- ① 被保険者（工業団地協同組合または組合員）に法律上の賠償責任が生じない場合（例：地震、落雷、洪水・竜巻などの自然災害 ほか）
- ② 受配電設備のメンテナンスおよび管理業務に起因しない事故（作業中の車両接触 ほか）
- ③ 施設の新築、修理、改造または取り壊し等の工事に起因する損害
- ④ 土地の沈下、隆起、移動その他これらに類似の地盤変動に起因する損害
- ⑤ 対象業務の瑕疵の修理または調整にかかる契約上の保証責任に起因する損害 など

★補償条件（期間中お支払限度額と免責金額）

| 期間中お支払限度額 | 免責金額（1請求） |
|-----------|-----------|
| 2億円 | 100万円 |

広報誌サポートメンバー紹介



自己紹介 株式会社イチムラ 設計部の齋藤瑞希です。私は2017年の4月にイチムラに入社し、設計部に所属しています。

主に図面やプレゼン資料の作成に携わり、家具の仕様や材料のことを覚えながら日々精進しています。

先月号の「ついしかり」の表紙を撮影させていただきましたが、自社でも商品の写真を撮ることがあるので、写真も頑張っていきたいと思っています。

自社PR イチムラは、机や椅子、実験台や調理台などの学校家具のイメージが強いと思いますが、

実は幅広い分野に製品を納めています。塾などのブース、ホテルなど商業施設の家具や展示施設の什器など。近年は一般ユーザー向けの家具も数シリーズ作り始めていて、展示会やイベントなどで紹介することもあります。その際には、ぜひイチムラ製品に触れてみてください。

また、イベント出展等の情報はホームページのトピックスにてお知らせしているので、注目してみてください。

☞ <http://www.ichimura-seisakusho.co.jp/>



自己紹介 株式会社イチムラ 設計部の藤井雄太です。私は2017年の4月に入社し、今は設計部に所属しています。図面を中心に、プレゼン資料や、ホームページの更新なども行っています。

毎月1のつく日(31日は除きます)にホームページのトピックスを更新しているのので是非ご覧ください。

自社PR 道内で木製、鋼製の工場を持っているのはイチムラのみです。ほぼ自社で製作が可能のため、木製と鋼製の同時進行によりスピーディーな対応が可能です。

また、メーカーとして規格が決まっている商品を数多く持っていますが、お客様からのご要望をしっかりとヒアリングし、その物件に合わせた寸法等の変更や特注、空間プロデュースも行っております。

省スペースから建物全体の空間プロデュースまで、お客様と一緒に空間づくりを行っています。



献血ボランティア活動

江別工業団地協同組合では北海道赤十字血液センターからの依頼により「献血ボランティア」活動に参加しております。

今年も11月14日(火)江別工業団地協同組合(江別工業会館駐車場)にて昨年に続き3回目の献血を実施致しました。当日はとても寒く日中もなかなか気温が上がらない一日でした。

北海道の献血状況は、医療機関からの依頼を受ける約90%が400ml献血による血液製剤であり、200ml献血による血液製剤は約10%と大変少ない状況です。安全な献血者を安定的に確保する目的として、また、病気やケガなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、均質な血液製剤を安定的に患者さんのもとにお届けできるようご協力をお願い致します。

今回、ご協力していただいた参加者は58名でした。そのうち採血不可の方2名、諸事情により中止された方12名、採血された方44名でした。皆さん寒い中ありがとうございました。その日の体の調子で、参加された方全員が採血できるわけではありません。一人でも多くの方に献血活動へのご協力していただけるようお願いいたします。



交通安全啓蒙活動・感謝状

団地内をとる主要幹線道路では、昨年の7月に死亡交通事故、その後も2件の交通事故が続きました。

幹線道路は、次の信号までの距離が長く、目に入る建物の数が少ないのでスピードが出やすい道路だという事です。

組合では、死亡事故発生後、交通事故撲滅対策の一つとして、団地内



1.2キロに298本の交通安全旗

を設置すると共に、旗の波街頭啓発も実施いたしました。

その活動が評価され、北海道方面江別警察署・江別交通安全協会の連名で感謝状をいただきました。

黄色の交通安全旗は1年中掲げ、スピードの抑制に繋がりを、輪禍死がなくなるよう願います。次の旗の波街頭啓発は7月を予定しております。沢山の方々の参加をお待ちしています。



安全衛生活動・江別市より表彰

昨年の夏、組合員さんの場内で心肺停止になった方がいらっしゃいました。救急車が来るまでの時間に、その場にいた職員さん5名が「心臓マッサージ」や「AED」を実施し、倒れられた方は一命をとりとめました。

組合では安全衛生活動の一環として、毎年「普通救命講習I」を実施し、多くの方に救命救急を学んでいただいています。救命に立ち会った方々は当組合での受講をされた方でした。平成18年より取り組みを初め、これまでの受講者数は316名です。

人命救助にあたった5名の職員さんは勿論、永きに渡り救命講習を続けた活動を評価され組合にも表彰状が届きました。普通救命講習Iは、毎年9月上旬に開催しています。受講されていない方は、是非、受講してみてください。



平成29年度優良商工従業員表彰

平成29年11月22日（水）江別商工会議所が主催する「平成29年度優良商工従業員表彰」に於いて、当組合より2名が表彰されました。

受賞者は、総務部伊藤華奈子さん10年以上勤続表彰、電力部佐藤敏春さん30年以上勤続表彰です。

お二人とも永きに渡り事務局で頑張っています。

終了後、お二人に感想を聞いてみましたら揃って「あっという間でした!!」との事。これからも宜しく願いいたします。





第6回 10月15日(日)

両古美山～無沢1 833m(トーマル峠コース) …… 23名参加

最後の山登りは、両古美山～無沢1を登りました。両古美山は、古平から神恵内村に向かう当丸峠から登ります。

当日の天候は晴れ、でも登山口に到着すると雪がチラチラ…嘘でしょう?!と愚痴をこぼしながら、物凄く寒い登山の開始です。

スノーシェルター脇を進み舗装路面が出た場所から山道です。ダケカンバと笹の中、まずは両古美山を目指します。峠からは標高差200mと楽勝気分でしたら、ハイマツが足元を邪魔します(;_;) 途中の岩山でポーズをとるみんなの真似をして「ハイポーズ!」。

さらに進み、ようやく頂上に着いたと思ったら、すぐに無沢1を目指します。ここ

からが長かった!! 寒さと歩きにくさと戦いながらようやく到着。

素早く昼食を済ませ、集合写真を撮る展望台に向かって戻ります。雲の切れ間からわずかに見えた山は、何という山だったのか…(笑)。次回は、暖かくなってきた頃に登りたいわ。



納会 11月26日(日)

工業会館会議室 …… 23名参加



雪も降り始めた季節の日曜日、今年の山登りを振り返り、そして、来年の山を決める納会。

当日は、23名で昼食、スライドショー、お喋り、余興、プレゼント交換と盛り沢山の内容で開催しました。館野会長の挨拶で始まり、今年すべての山を登った皆勤賞の4名の方々に表彰状と記念品の授与です。表彰状に書かれているメッセージに笑いながら、皆

さん気持ちよく受け取っていました。

次は、今年の様子をスライドショーで見ます。「楽しかったね」「ここ辛かったね」なんて会話が飛び交っていました。余興は、葛西さんの「アルトサクソ演奏」から始まり「カラオケ披露」「みんなで歌う」と盛り沢山。

来年度の山登り計画を聞き、例年行っているプレゼント交換を済ませると、参加してくれた皆さんから一言。「この山やだ〜!」「来年も皆勤賞目指します!」とそれぞれ。来年の山登りは伊達紋別岳、羊蹄山、十勝岳etc…。皆さん!!一緒に山を登りましょう!!



岩手から10戸入地 140年 江別の屯田兵

(江別市郷土資料館元館長
一般財団法人北海道文化財保護協会理事) 石垣 秀人

江別市民憲章(1968(昭和43)年12月24日告示)1行目に「私たちは屯田兵によってひらかれた江別の市民です」、また江別市紋章(1924(大正13)年10月24日制定)には、北門警備の屯田兵の星章を標すなど、江別は屯田兵の顔をもつまちでもある。

屯田兵が江別に最初に入地したのは1878(明治11)年8月29日、岩手県からエベツブト(現緑町・王子)に10戸56人の入地に始まり140年を迎える。その後、2戸が分家して12戸となり同地を「12戸屯田」と呼んだ。1878年10月、開拓使はここに村を設け、村名を江別村と名付けた。江別の開基は村からで140年となる。

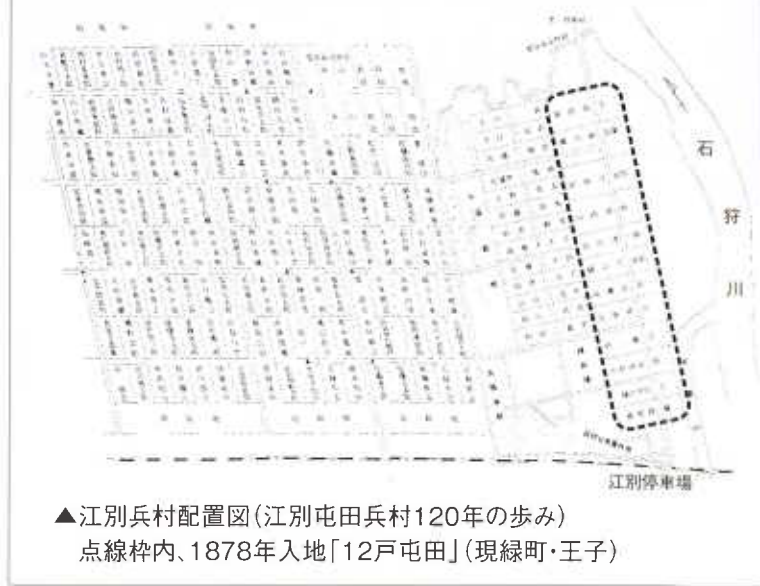
その後、江別の屯田兵の配置は、1881(明治14)年から1886(明治19)年まで続いた。5年間で江別160戸、篠津60戸、野幌225戸と計445戸が入地した。

江別屯田兵10戸は、概ね各戸に間口50間、奥行100間、5千坪の給与地が与えられた。しかも兵屋は暖炉付き、ガラス窓など北方寒冷地住宅(米式)ともいうべき、破格のものが用意された。兵屋では篠津は丸太積み(ログハウス風)露式で、米式と同様に建築費が高額のため江別・篠津の第2次以降と野幌の兵屋は和式の木造切妻平屋となった。

江別の屯田兵用地としてエベツブトが選ばれたのは、屯田事務局がある札幌に近く河川交通の要地であり、1881(明治14)年に開設する樺戸・空知の両集治監の脱獄囚に対する治安対策上でも適当となったことによる。当初の予定地は対雁だったが、樺太アイヌの移住問題などもありエベツブトになった。しかし、この地も開拓使出仕の大鳥圭介との用地買収問題や西南戦争による屯田兵募集の中断もあって遅れ、1878(明治11)年8月の入地となった。

屯田兵のはじまり

屯田兵の設置は、①北辺の守り、②開拓、③貧窮士族の救済、の三つの柱に、④道内の治安維持、⑤兵則農の



合理化による経費節減など、政治的に、財政的に、多様な要求に応えようとしたものだった。1874(明治7)年6月、屯田兵制度を建議した黒田清隆開拓次官(後に長官)が北海道屯田兵憲兵事務総理となり、10月には「屯田兵例則」が定められ屯田兵の募集が開始された。

屯田兵は警察権を持つ憲兵で、士族を資格とする世襲制の軍隊とし農業開拓を進めるため家族を伴い、戸主は軍事訓練を受けて非常の変に備えることにしていた。

1876(明治9)年、開拓使は屯田兵配置の方針を固めた。これに関し、お雇い外国人の開拓使顧問、ウイリアム・スミス・クラーク(札幌農学校教頭)とエドウィン・ダン(農業技師)から提言

指導を受けた。1戸1万坪の耕地、家畜の飼育、牛馬による開墾、日本初の暗渠土管排水の設備がされた。

北海道に入地した屯田兵は、募集終了の1899(明治32)年には約7千300戸、約3万9千900余人となった。1875(明治8)年の琴似屯田から1899年の士別屯田まで全国から集まった屯田兵は道内37兵村に入地し、地域の産業・文化とまちづくりの基盤をつくった。

「江別の屯田兵の歩み」展 3月21日まで。

江別市郷土資料館は、屯田兵の江別入地140周年を記念して「江別の屯田兵の歩み」をテーマに、後期ロビー展を開催中。資料館収蔵資料をもとに屯田兵制度や人々の暮らしなど江別の屯田兵が歩んできた足跡を辿るもの。期間は3月21日(水)までで、時間は9時から17時まで。入館は無料。展示を通し改めて江別の歴史・文化を振り返る機会にしてほしい。*常設展は有料。

詳しくは、同館電話011-385-6466まで。

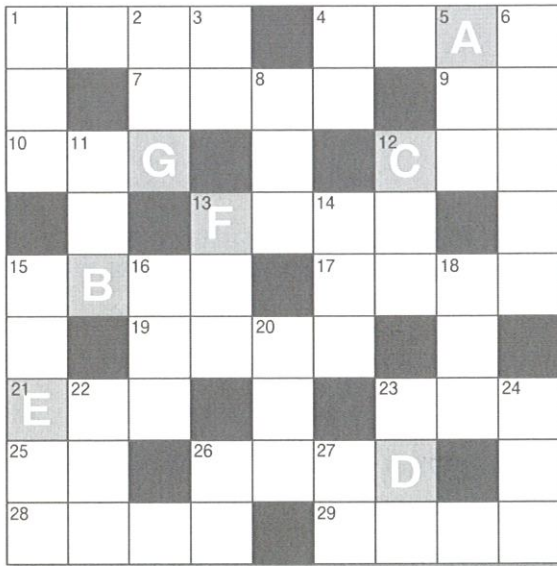
(参考:新江別市史、江別の屯田兵)



江別市紋章

第76回 クロスワードパズル

今回の答えは[冬]にちなんだパズルを選定掲載いたしました。どうぞ解答をお寄せ下さい。
解答はハガキか用紙(自由)に記入して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、江別市工栄町15番地の1 江別工業団地協同組合広報委員会あて、2月9日までに郵送またはお届け下さい。正解者の中から抽選で10名様に粗品を郵送します。



第75回パズルの答え ※正解者総数は34名でした。



正解者の中から抽選で次の10名の方に景品として(株)菊水の「北海道名店寒干4人前」を郵送いたしました。

●当選者

- | | |
|-----------|-----------|
| 上原様(北広島市) | 鶴崎様(札幌市) |
| 梅澤様(江別市) | 中村様(下川町) |
| 久保様(栗山町) | 野田様(江別市) |
| 神垣様(江別市) | 野村様(北広島市) |
| 棚田様(江別市) | 松井様(恵庭市) |

【タテのカギ】

- いたずらっ子、頭に〇〇〇がポカリ!
- 『もう、いい〇〇〇にしない!』物事はほどほどに…
- 上がる・吹きかける・切らせる、で連想するのは?
- 返事は、手を挙げて元気に〇〇!
- 日本→〇〇〇→宇宙
- ほんのわずかな時間のこと・〇〇〇〇の出来事
- 有名になって、〇〇〇に名を残したい
- 野球〇〇〇・〇〇〇募集
- 『町』を英語でいうと?
- 〇〇〇両成敗!仲良くね
- ⇔日本間・洋風な部屋のこと
- 毎日、せつせと。〇〇〇〇〇問題・自主〇〇〇〇
- 誠心〇〇〇・〇〇〇を尽くす
- クロスワード・スケルトン、種類もいろいろありますね
- 悪い〇〇〇には、乗らないで!
- 昔の遊び場・建物が増えてなくなりましたね

- 鉛筆・〇〇〇・消しゴム、三種の神器
- 勝負、競技のこと・タイトル〇〇〇
- 上手〇〇・すくい〇〇・下手〇〇
- 海老で釣る魚といえは?

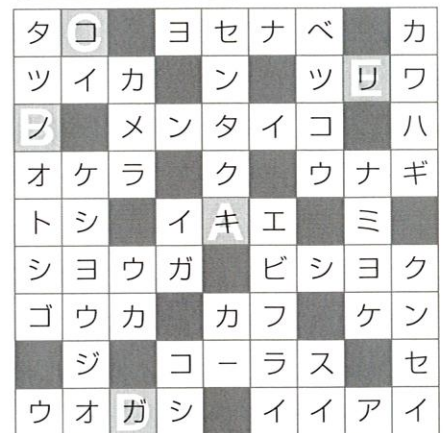
【ヨコのカギ】

- もう伸びない!〇〇〇〇を感じる…
- ごめんなさい、深く〇〇〇〇しています
- 『がんばれ〜!』『ファイト!』
- 座禅中、背後から住職の足音…。『〇〇!』
- ⇔親分
- 少年よ〇〇〇を抱け!
- 厚いより、薄めがいい?〇〇〇〇品
- 続けて戦うこと・〇〇〇〇連勝
- 荷物などを運ぶこと。〇〇〇〇作業
- 正々堂々と、こんなずるはダメ!
- 勝つも負けるも時の運
- 目標まで、あと少し。〇〇〇達成!
- 寒くなると降ってくる、白くて冷たいものといえは?
- ピール片手に白熱しました、〇

〇〇〇中継

- 終わったあとは、一杯飲もう♪
- まだ、解決の〇〇〇〇がつかめない…

第75回パズルの答え



クロスワードを解き、A~Gをつないだ言葉が答えです。



組合予定行事

| | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|
| <p>17日(水) 定例三役会 〃 「ついでに」第138号発行 18日(木) 組合新年交礼会 23日(火) 理事会 31日(水) 安全衛生セミナー</p> | <p>2月 1日(木) 広報編集委員会 14日(水) 労務管理セミナー 15日(木) 福利厚生広報委員会 20日(火) 職長・能力向上教育講習会(再教育)</p> | <p>〃 定例三役会 24日(土) 第40回親睦麻雀大会</p> | <p>3月 6日(火) 低圧電気取扱者・労働安全衛生特別教育講習会 7日(水) 安全衛生委員会 14日(水) 定例三役会 15日(木) 販売購買委員会 20日(火) 共同受電事業委員会 22日(木) 総務委員会 27日(火) 理事会 〃 5委員会合同会議</p> |
|---|---|--------------------------------------|---|